

第5学年 社会科学習指導案

長浜市立長浜南小学校

教諭 野村 佳杜栄

1. 単元名 「琵琶湖と国土の環境を守る」

2. 単元の目標

琵琶湖の環境問題と生活環境に関することについて、琵琶湖の環境問題の発生時期や経過、人々の協力や努力などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、まとめ、琵琶湖の環境問題の取組を捉える。その働きを考え、表現することを通して、関係機関や地域の人々の様々な努力により琵琶湖の環境問題や生活環境の改善が図られてきたことを理解する。琵琶湖の環境問題から地域の環境や健康な生活を守ることの大切さを理解する。そして、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に地域社会の一員として自分たちが協力できることを考えようとする態度を養う。

3. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>① 琵琶湖の環境問題の発生時期や経過、人々の協力や努力などについて、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、琵琶湖の環境問題のことを理解している。</p> <p>② 調べたことをタブレットを活用しながら図表や文などにまとめ、美しい琵琶湖を守っていくための取組が進められていることや、地域の環境や健康な生活を守ることの大切さを理解している。</p>	<p>① 琵琶湖の環境問題の発生時期や経過、人々の協力や努力などに着目して、問いを見だし、琵琶湖の環境問題の取組の様子について考え、表現している。</p> <p>② 琵琶湖の環境問題や人々の協力や努力と地域の生活環境を関連付けて琵琶湖の環境問題の取組の果たす役割を考えたり、学習したことを基に琵琶湖を守るために、自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現している。</p>	<p>① 琵琶湖の環境問題と生活環境に関することについて、予想や学習計画を立てて、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p>② 学習したことを基に琵琶湖を守るために、自分たちが協力できることを考えようとしている。</p>

4. 単元について

(1) 教材観

県内の5年生は「フローティングスクール」に参加し、琵琶湖について学んだ。フローティングスクールは、学習船「うみのこ」に乗り、琵琶湖をめぐるながら、いろいろな体験を積むことができ、今までの琵琶湖に対する思いを変え、琵琶湖がいつまでもきれいな姿であってほしいという思いを育てていきたい。

また、校区に流れる長浜新川も琵琶湖につながっていくということを知り、自分たちが環境を汚染してしまうと未来の人たちにも影響が出ていくため、長浜新川からきれいにしていこうという思いを持たせていきたい。

(2) 児童観

本学級の児童はフローティングスクールで琵琶湖の水質が改善され、以前と比べてきれいな湖となったが、琵琶湖に生息する生き物たちにとってはまだまだ多くの課題があることを学んだ。その学習から琵琶湖をきれいにしていきたい、生き物がたくさん住める湖にしたいという思いを持っている児童は多くいる。しかし、具体的に何をすればよいかまで考えられる児童は少ないと考える。そこで、これまでに琵琶湖で起きた環境問題や校区に流れる身近な河川や川岸の様子を知ることにより、自分たちにできることはないかということを考える機会にしてほしい。

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては、まず琵琶湖の水がわたしたちの生活の中でどのように使われているかを想起させる。このことを通して、琵琶湖の水は、昔から人々の生活と深く関わっていることに気づかせたい。フローティングスクールで学んだ水の透視度調査や琵琶湖に住む魚について調べる活動を想起し、琵琶湖の美しさや水の汚れを知り、これからどうしていけばよいのか考える契機としたい。次に、長浜市の地図から長浜新川も琵琶湖に流れていることを知り、長浜新川の河川や川岸の様子を考える。その後、これまでにあった琵琶湖の環境問題について動画や写真を見ながら考え、さまざまな人の努力があって今の湖や川があるということに気づかせたい。

最後に、琵琶湖の美しさを守るために自分たちにできることは何かを考えさせる。美しいまま未来へつなげていくために、限りある琵琶湖の水を守り続けるために、生活の中でできる工夫を考え、児童自身が実践していこうとする態度を育てていきたい。

(4) ESDとの関連

○この題材で働かせるESDの視点(見方・考え方)

- ・多様性…滋賀県にはこれからも大切にしていきたい琵琶湖や河川がある。
- ・相互性…自分たちの生活が自然と関連してつながっている。
- ・責任性…今ある自然を未来に引き継いでいく。

○この学習を通して育てたいESDの資質・能力

・未来像を予測して計画を立てる力

自分たちの生活が自然環境を破壊するかもしれないことを想像し、自然を守るために考える。

・多面的・総合的に考える力(システムズ・シンキング)

自分たちの生活だけでなく、動物や植物にとっても良いものかを考える。

○この学習を通して育てたいESDの価値観

・自然環境、生体系の安全を重視する。(生物多様性の重視)

美しい日本、滋賀県の自然や環境を守っていくためには、自分たちの今の暮らし方を変える必要もある。

・世代間の公正

滋賀県の自然や大切に受け継がれたものは、次の世代へときちんと引き継がなければならない。

○関連するSDGs

11 まちづくり

13 気候変動

14 海の豊かさ

15 陸の豊かさ

5. 単元の指導計画(社会科6時間 総合9時間)

次	主な学習活動	学習への支援	評価
1	<p>滋賀のいいところってどんなところか考える。(1)</p> <p>フローティングスクールで学習したことを振り返る。</p> <p>・実験や学習で学んだことを出し合う。</p>	<p>・美しい琵琶湖や豊かな自然に囲まれて生活していることに改めて気づかせる。</p> <p>・アンケートを使ったりフローティングスクールの感想を見せたりしながら想起させる。</p>	<p>【主体的に学習に取り組む態度】①</p> <p>発言・ワークシート</p> <p>琵琶湖の現在の問題について課題を考えようとしている。</p>
2	<p>これまでの琵琶湖の姿を写真や動画を見て知り、環境汚染、環境問題があったことに気づく。市役所や地</p>	<p>・琵琶湖の歴史をより分かりやすくするために年表を作成する。</p> <p>・問題ごとにグループ分けを</p>	<p>【知識・技能】①</p> <p>発言・ワークシート</p> <p>琵琶湖のこれまでの環境汚染や環境問題</p>

	<p>域の人、校長先生、学校運営協議会の方に話を聞く。(2)~(7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤潮問題 ・アオコ問題 ・工場排水や家庭排水による汚染 	<p>し、どうしてその問題が起きたのかより詳しく調べられるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境を壊してしまうと、元に戻すのに多くの時間と労力が必要であることを、歴史を学ぶことで気づかせる。 	<p>を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①</p> <p><u>ワークシート・話し合い</u></p> <p>人々の生活によって琵琶湖の環境問題が起きたことに気づき、グループでまとめている。</p>
<p>美しい琵琶湖を守るために今できることを考えよう。</p>			
3	<p>長浜新川の歴史や現在の川の様子を調べ、川が汚れていないか、ごみが落ちていないかを調査する。(8)~(10)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水を取ってきて実験する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校区に流れる身近な川も琵琶湖に流れていることに触れ、身近な問題として捉えられるようにする。 ・これまでの自分の生活を振り返り、間接的に河川や湖を汚していないかを振り返らせる。 	<p>【思考・判断・表現】</p> <p>②</p> <p><u>ワークシート、振り返り</u></p> <p>自分たちの生活が身近な河川や琵琶湖を汚しているかもしれないことに気づいている。</p>
4	<p>美しい琵琶湖を守っていくため、未来につなげていくため、今自分ができていることを考え、発表する。(11)~(13)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの生活は琵琶湖や河川の汚染につながるということを確認し、家や学校でできることを考え、タブレットを使ってまとめる。 	<p>【知識・技能】②</p> <p><u>発表、スライド</u></p> <p>琵琶湖を守るための取組や自分についてまとめることができる。</p>
<p>これから自分ができていることを考えよう。</p>			
	<p>自分が家や学校でできそうなことを考えて実践する。(14)~(15)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表したことを実際にするために一人ひとりこれからの行動計画を作成する。 ・実際に活動して感じたことを発表する。 	<p>【主体的に学習に取り組む態度】②</p> <p><u>ワークシート</u></p> <p>自分ができていることを考えて行動計画を作成しようとしている。</p>